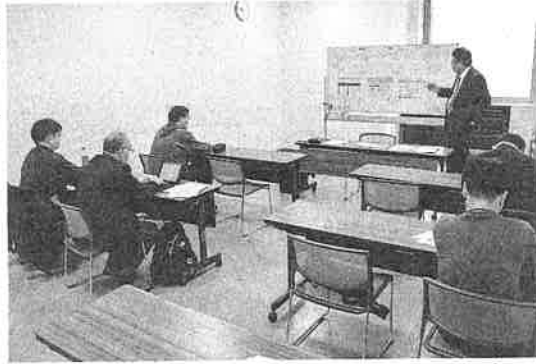


建築設備士資格取得へ 道設備設計事務所協会が受験勉強会



北海道設備設計事務所協会(山田修会長)は9日、札幌エルプラザで2025年建築設備士の試験に向けた受験勉強会を始め、資格取得への第一歩を踏み出した。

同協会は08年から資格取得を支援する目的で勉強会を開始。25年3月22

過去問を解き来年度の合格を誓った

日まで計10回の勉強会と5月17日の模擬試験を予定し、6月下旬の1次試験に備える。

堀井淳史技術委員長は、準備すべき書籍について、「建築設備士学科

問題解説集と建築設備関係法令集の2つが必須」と説明。

続いて試験傾向を振り返り、「近年、合格ラインが上がり、基準点72点が合格ぎりぎりのラインと想定している。過去問で85点を目標に、限りなく100点を目指して取り組んでほしい」と呼び掛けた。

省エネ基準が4月から変わり、厳しくなっている現状や今後の方向性を踏まえ、建築設備士がますます重要視されていることを解説。「資格取得が個々人のレベルを上げ、時代に取り残されずについていく第一歩」とエールを送った。

受講者はことしの試験問題を解いて試験の雰囲気をつかんだ。